

地域・在宅看護技術論

単位数（時間数）：1 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：4 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：准教授・越納美和

科目担当者（職位・氏名）：助教・太田ゆきの 助教・阿部鮎美

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：57

■ 授業概要

地域に暮らす人々とそこで行われる看護について理解するとともに、療養しながら生活する際の様々な課題を知り、必要な看護活動について教授する。また、在宅ケアシステムについて、多機関・多職種との連携と協働、および社会資源とその活用方法を教授する。

■ 到達目標

1. 在宅看護過程を通して療養者および家族の理解を深め、その援助について考えることができる。
2. 療養者と家族の特性に応じた社会資源の活用について説明できる。
3. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割を考えることができる。
4. ケアマネジメントの意義・目的・方法が理解できる。

■ 教育内容

地域・在宅看護論

■ キーワード

在宅看護過程、ケアマネジメント、地域包括ケアシステム

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	ケアマネジメント 看護過程の展開①	授業オリエンテーション 在宅看護におけるケアマネジメント 対象者理解の視点 講義、個人ワーク	越納
2	看護過程の展開②	アセスメント（ICF） 講義、個人ワーク、グループワーク	越納
3	看護過程の展開③	看護アセスメント 統合アセスメント 講義、個人ワーク、グループワーク	太田
4	地域包括ケアシステムの実際①	看護小規模多機能型居宅介護における看護の役割と実践 一般社団法人恵幸会 くくる花巻訪問看護ステーション、花心（はななくくる）看護小規模多機能型居宅介護 代表理事 平澤利恵子先生 講義	越納 ゲスト スピーカー
5	看護過程の展開④	看護計画、(実施)、評価 講義、個人ワーク、グループワーク	太田
6	看護過程の展開⑤	看護過程の展開（看護小規模多機能型居宅介護） 講義、個人ワーク、グループワーク	越納
7	在宅看護ケアの実際 看護コミュニケーション①	家庭訪問のマナー 事例演習（ロールプレイ）：看護コミュニケーションの援助計画立案 講義、個人ワーク（講義室、実習室2）	太田
8	在宅看護ケアの実際 看護コミュニケーション②	事例演習（ロールプレイ）：看護コミュニケーションの援助実践計画書の作成 講義、グループワーク	共同
9	在宅看護ケアの実際 看護コミュニケーション③	事例演習：ロールプレイの練習① 講義、グループワーク ※2 グループ制	共同

10	在宅看護ケアの実際 看護コミュニケーション④	事例演習：ロールプレイの練習② 講義、グループワーク ※2 グループ制	共同
11	在宅看護ケアの実際 訪問看護演習	事例演習：ロールプレイの発表会 実施・評価 ※2 グループ制	共同
12	介護予防	介護予防の実際 グループワーク ※2 グループ制	越納
13	地域包括ケアシステムの実際②	地域包括支援センターにおける看護の役割と実践 講義	越納
14	地域包括ケアシステムの実際③	地域を支える互助の実際 岩手ホスピスの会 川守田裕司 先生 講義	越納 ゲスト スピーカー
15	在宅看護の展開	ロールプレイ評価について 介護予防グループワークの講評 看護小規模多機能型居宅介護の事例解説在宅看護のまとめ 講義、グループワーク	越納

■ 履修条件

地域・在宅看護学概論、保健医療福祉連携論、地域・在宅看護援助論、地域・在宅看護実習Ⅰを履修していること。

■ 成績評価方法

授業準備・参加態度 10%、課題（看護過程の展開 40%、介護予防 10%）、
ロールプレイ準備 20%・ロールプレイ発表 20%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

授業中に解説する。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
 - 地域・在宅看護論 ① 地域療養を支えるケア
 - 地域・在宅看護論 ② 在宅療養を支える技術
- ・配布資料

■ 参考書・参考資料等

- ・尾崎章子編（2021）『地域・在宅看護実習ハンドブック』中央法規出版
- ・日本在宅ケア学会編（2015）『在宅ケア学全6巻』株式会社ワールドプランニング
- ・地域・在宅看護学概論と地域・在宅看護援助論配布資料

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・ロールプレイングは、グループごとに話し合いや準備、練習を行うこと。
- ・看護過程の展開は毎回課題を出しますので、期日を守って学修すること。
- ・授業1コマにつき、事前・事後学修としてそれぞれ90分程度必要とする。

■ 担当教員からのメッセージ

在宅のケアマネジメントと看護過程を中心に事例をとおして学習し、生活の場における看護を理解する授業です。自ら学ぶことを主眼におき、参加しましょう。看護過程の展開は、実習での看護過程実践を想定した内容になりますので、疑問点は質問して確実に理解するようにしてください。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

越納：研究室 22 koshinou★iwate-uhms.ac.jp

太田：研究室 24 yoota★iwate-uhms.ac.jp

阿部：研究室 6 ayuabe★iwate-uhms.ac.jp

オフィスアワーは特に定めませんが、事前にメールで連絡の上、訪問のこと。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

有

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

看護小規模多機能型居宅介護 代表理事（看護師）

■ 実務経験を活かした教育内容

在宅領域（訪問看護ステーション等）における実務経験をもとに専門的で実践的な講義と演習を行います。